

# 市営自転車等駐車場の再整備について

## 豊明市では、市営自転車等駐車場の集約・再整備を実施します

### なぜ自転車等駐車場を再整備するのですか？

- 本市の自転車等駐車場（以下、「駐輪場」といいます。）は、現在、中京競馬場前駅、前後駅、豊明駅の3つの鉄道駅周辺に10か所が整備されています。
- これらの駐輪場は、収容能力（駐輪できる台数）の不足や施設の雨対策のための屋根設置などが課題となっています。
- 駅や立地により状況は異なりますが、恒常的に駐輪場に自転車が放置されるため、放置自転車とそうでない自転車の区別がつかず、市により自転車の整理を毎日行っているものの、収容能力を超えてしまっている駐輪場がございます。
- 自転車ラックが整備されているものの、電動自転車など自転車の大型化で一部利用されていない駐輪場や、照明・防犯カメラといった設備の充実を利用者から要望されている駐輪場もございます。
- また、民間から借地している駐輪場もあることから、安定的な駐輪場の運営を実現するために駅周辺の市有地の有効活用をはかる必要があると考えています。

### 現在の駐輪場から、どのような点が変わるのですか？

- 効率的な管理運営や市有地の有効活用を行うため、現在10か所ある駐輪場を7か所に集約することを計画しています。 ※令和4年10月供用開始予定
- 利用者アンケートの結果を踏まえ、駐輪場に屋根・防犯カメラ・LED照明を整備するとともに、自転車の大型化等に対応するための駐輪区画の拡張や2段式自転車ラックを新設します。
- 原付2種【125cc以下】の駐輪区画を新設します。
- 駐輪場にゲートシステムや電磁ロック、精算機等を導入することで、現在有人にて行っている料金収受や自転車整理を効率化し、より利便性の高い駐輪場を目指します。
- これに伴い、有料・無料が混在している駐輪場を全て有料化します。
- 有料化に伴い、現在課題となっている駐輪場内の放置自転車がなくなることや、テレワーク等の勤務形態の変化により、通勤利用の減少が見込まれることなどを考慮し、収容台数を現在の2,955台から約2,500台程度としています。

### 駅周辺の安全・安心・快適さを向上させます！

各駅周辺に放置自転車禁止区域を設定し、放置自転車等の取締りを強化することにより、歩行者の安全確保と駅周辺の景観の向上をはかります！

### 現在の3駅市営駐輪場(10か所)



### 駐輪場の集約・再整備案(7か所)

